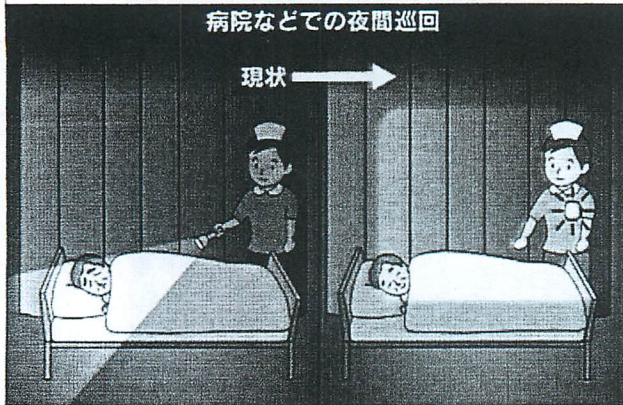


# タカハタ電子

有機ELのナースライトを採用すると  
病院などでの夜間巡回



通常の懐中電灯では患者がまぶしい

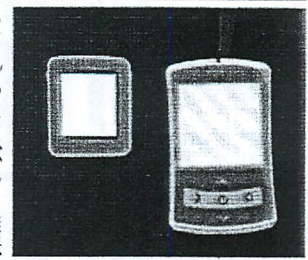
有機ELのやわらかい光を使い患者がまぶしくない

# 看護用ライト小型化

電子機器メーカー、タカハタ電子(山形県米沢市)は、看護師らが入院患者の様子をみる夜間巡回に使う有機ELの「ナースライト」を小型軽量化した新製品を開発した。2016年春をメドに販売を開始する。最新製法の有機ELパネルを採用し、同社の従来品に比べて価格を3分の1にした。山形大学工学部などと協力し、有機ELの地域産業化を推進する。

## 新製法有機EL 価格3分の1

ナースライトは同社が有機EL照明の医療分野展開のため開発し、13年8月に発売した携帯用機器。新製品は聖路加国際病院の看護師らの現場の意見を取り入れ改良した。高さ72ミリ、幅62ミリで、重さ69グラム。現行品に比べサイズを半分に、重さを4割減らした。価格は1個1万円台半ばと3分の1に抑えた。有機ELパネルは、三菱化学とパイオニアの合弁会社MCバイオニアOLEDライティングから調達。製法を真空蒸着型から塗布型に変更したことでコストを削減し販売価格を下げた。病院では看護師が就寝中の患者の様子をみるため懐中電灯やペンライトを使っている。患者は照



らされるとまぶしく睡眠の妨げになるが、有機ELは面全体が発光する柔らかい光で患者の状況も確認しやすい。看護師が胸ポケットにクリップで取り付けるため画手が見える。点滴の滴下スピードを確認しやすいよう1

タカハタ電子が開発した新型ナースライト。現行製品に比べ小型軽量、低価格化した。

秒ごとに点滅する機能も一に出展する予定だ。付け、特許を出願した。

25日から東京ビッグサイト(東京・江東区)で開かれる医療・福祉機器の展示会に出展、岡村製作所のブース内で展示する。病院や介護施設に売り込み、初年度5000台の販売をめざす。海外販売も視野に入れる。16年末に独デュッセルドルフで開かれる世界最大の医療機器展MEDICA